

青山学院大学 英米文学科同窓会
第36回セミナー（2023年度 秋季）

『私のイギリス滞在記』シリーズ 第1回～第3回

第1回「ノッティンガムの風土、風景、文学 ——

D. H. ロレンスとアラン・シリトーの小説を中心に」

- ・講師：麻生えりか 青山学院大学文学部英米文学科教授
- ・開催日時：11月11日（土）14:00～16:00

第2回「York での生活から見えてきた、地域文化と「文学」の現場」

- ・講師：伊達直之 青山学院大学文学部英米文学科教授
- ・開催日時：11月25日（土）14:00～16:00

第3回「オックスフォード大学で育まれたファンタジーと言語文化 ——

J. R. R. トールキン、C. S. ルイス、L. キャロル、W. スプーナーを巡って」

- ・講師：吉波 弘 青山学院大学名誉教授（元英米文学科教授）
- ・開催日時：12月9日（土）13:00～15:00

・開催場所(全回共通)：校友会グリーンエリア集会室 A 室 (アイビーホール 2 階)

・開催形式：対面形式(基本)+Zoom meeting

・参加費：1回 2,000 円 (対面参加者のみ・茶話会のお茶代等を含む)

・申込方法：同封の「秋の活動予定・申込方法」参照

【講師プロフィール】

麻生えりか 教授：



- ・1991年慶應義塾大学文学部英米文学専攻卒業。同年、慶應義塾大学大学院文学研究科英米文学専攻博士前期課程に進学、1996年同博士後期課程単位取得済み満期退学。1997年、青山学院大学文学部英米文学科専任講師。同学科助教授、准教授を経て、現在、教授。
- ・1993年から1年間、ロータリー奨学金を得てノッティンガム大学大学院に留学、M. A. in D. H. Lawrence を取得。
- ・最近の著書に、『カズオ・イングロと日本 — 幽霊から戦争責任まで』（共著、水声社、2020）、伊藤恵子『わが上海』（訳書、小鳥遊書房、2021）、『書くことはレジスタンス — 第二次世界大戦とイギリス女性作家たち』（共著、音羽書房鶴見書店、2023）など。

伊達直之 教授：



- ・1986年に早稲田大学政治経済学部卒業、旭硝子株式会社（現 AGC）国際部勤務を経て、英文学を志し東京都立大学大学院人文科学研究科英文学専攻博士課程に進学、単位取得退学。
- ・1993年から1997年に英国 York 大学大学院英文学専攻博士課程に留学、2006年博士課程修了、Ph. D. in English (York 大学)。
- ・1999年青山学院大学英米文学科の専任教員となり、英米文学科主任を経て現在は文学部長、文学研究科長、大学図書館長。
- ・York 市内、英国南部 Sussex の South Downs 地域（立教英国学院）、および Ireland の Sligo に長期滞在し地域探訪を続ける。

吉波 弘 名誉教授：



- ・1974年に青山学院大学文学部英米文学科を卒業し、同年秋より米国ワシントン大学大学院にて言語学を研究。
- ・1983年から2020年まで37年間、同学科専任教員を務め、国際交流センター所長、英米文学科主任、英米文学専攻主任などを歴任。
- ・在職中、交換留学制度拡充、オックスフォード大学夏期研修プログラム開発、英米文学科英語科目改革（IEプログラム開発）などに取り組む。
- ・在外研究員としてマサチューセッツ工科大学、オックスフォード大学、ワシントン大学に滞在し、生成音韻論の枠組みで諸言語の韻律単位を中心に研究。